

2025 年度 大阪大学人間科学部同窓会幹事会議事録（2026 年 3 月 18 日開催）

日 時 2026 年 3 月 18 日（水） 19：00～20：55

場 所 オンライン開催（Zoom）

出席者 小林圭一郎、西森 年寿、中井 宏、勝又 輝明、加藤 善子、清水 隆則、高橋 武良、中岡 泰助、
福田 早苗、三谷 はるよ、吉川 耕平（計 11 名）
権藤 恭之、松井 智子、小牧 将浩（事務局 3 名）
八十島 安伸（オブザーバー：次期研究科長）

欠席者 家島 明彦、大岡 友子、岡田 千あき、桂田 祐希、阪本 俊生、高田 一宏、出川 敬司、
平野 久美子、MOHACSI GERGELY（計 9 名）

（敬称略）

（審議事項）

1. 幹事の選出について

事務局長から、資料 1 に基づき、人科教員選出の幹事の退職に伴い、後任を選出することについて説明があり、審議の結果、これを承認した。

2. WEB 名簿の登録者数等について

出席幹事から、資料 2 に基づき、名簿の登録状況等について説明があり、登録者数増に向けた方策等について検討を行った。

（主な意見等）

- ・名簿システムに登録が漏れている世代があると思われるので見直しをお願いしたい。
- ・人科教員の中で、登録されていない方が見受けられるので、登録をお願いする。

3. 役員会 幹事会の定例化（開催頻度）について

出席幹事から、同窓会活性化のため幹事会開催の定例化について提案があり、意見交換を行った。

会議回数増については、種々課題もあることから、同窓会活性化のための方策について引き続き検討していくこととした。

（主な意見等）

- ・同窓会で行う行事が明確でないため、幹事会回数を増やしたとしても効果的とは限らない。
- ・人科では同窓会総会が開催されていないため、何か行事に向けた検討が必要ではないか。
- ・幹事会回数よりもWGを活性化の方が良い。
- ・WGに参加しているが、それだけで相当多忙である。
- ・幹事は各自多忙であるため、幹事会回数を増やすより、行事等に参加する同窓生同士のつながりを通じて結束を固めるべきである。
- ・東京・大阪で開催する同窓会を継続し、場作りを行うことで、継続的な発展につながると考える。

4. その他

①Web 名簿システムを用いた卒業期別同窓会のお知らせについて

出席幹事から、ある卒業期の同窓生から同窓会開催にあたり、システムからメール配信要望があった旨説明があり、審議の結果、卒業期を限定せず一斉配信する方法で承認した。

また、今後も他の同窓生から要望があれば、配信を行って行くこととした。

(報告事項)

1. 人間科学部同窓会幹事名簿リストについて

事務局長から、資料3に基づき説明があり、名簿リストの情報共有を行った。

また、名簿への追加も可能である旨補足説明があった。

2. 2025 年度賛助金収支報告等について（2月末現在）

事務局から、資料4に基づき、賛助金（2月末現在）の収支状況について報告があった。

また、賛助金はこれまで「国立大学法人大阪大学預り金」として管理されていたが、大学の指導に基づき、2025 年 4 月に遡って、より厳格な管理のもと月締めでの報告も行うこととなった旨、併せて説明があった。

3. 大阪大学文系学部同窓会幹事合同懇談会（2月20日開催）について

懇談会出席者から、資料5に基づき、懇談会の内容について報告があった。併せて、次回当番が人科同窓会となった旨の説明があった。

4. 大阪大学同窓会連合会幹事会（3月12日開催）について

会長から、資料6に基づき、幹事会の内容について報告があった。

5. 大阪大学人間科学部同窓会 in 大阪 2026（5月2日開催予定）について

同同窓会担当から、大阪で5月2日開催予定の同窓会について、準備状況の報告があった。

6. 各WGからの報告について

ML /HP/SNS/会報WGから、活動を活性化していきたいこと、イベント／幹事会WG報告から、後日、東京、大阪での同窓会の総括を行うことについて報告があった。

7. その他

①会長から、大阪大学人間科学部同窓会 in 東京 2026（3月21日開催）の準備状況等、大阪大学の他学部同窓会との情報交換について報告があった。

(主な内容)

各部局の同窓会担当と情報交換を行ったが、高齢化、事務局の人手不足、会員登録が課題となっており、人科同窓会の、イベントへの幅広い世代の参加、学内の事務局設置とサポート、Web 名簿システムについて、賞賛をうけたこと。

以上